

社会医療法人有隣会 東大阪病院

東大阪病院ニュース

2025年
1月



【目次】

P.1: 理事長より新年のご挨拶 P.2: 看護部より P.3: 内視鏡検査専門ホームページの紹介と有隣会トピックス P.4: リハビリ通信
P.5: 登録医紹介 P.6: 管理栄養士提案レシピ P.7: 外来診療一覧 P.8: お見舞い・面会の方へ / 病院概要

理事長より新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様、ご家族と共に素晴らしい新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、2024年1月1日に石川県能登半島で地震があり、日航機と海保機が衝突し、衆議院選挙で与党過半数割れ、パリ五輪、日本では長い夏の猛暑がありました。

私たち医療の世界では医療・介護・福祉のトリプル改定がありました。また、新病院への移転1年目となり新しい環境や設備に慣れ、業務整備とマニュアル作成の1年となりました。

昨年は様々な課題に直面した年でしたが、医療法人として新たな挑戦と発展の一年となりました。昨年実績の具体例としまして、開業医の先生との連携強化、救急受け入れ年間3,800件以上。整形外傷手術の大幅な増加。外科手術の充実。透析医療の外来と入院機能の充実。緩和ケア病棟の質の向上。在宅介護での地域貢献。地域の防災訓練への積極的な参加。お祭りへの救護班の派遣等を行いました。基本方針の「私たちは、医療・看護・介護・保健・福祉を通じて地域社会に貢献します。」の実現に少しでも近づけているかと思えます。

多くの困難な状況に直面しながらも職員一人ひとりが懸命に取り組んだ結果、私たちは地域医療への貢献で多くの成果を挙げることができました。心より感謝申し上げます。

新しい年にあたり、私たちはさらに一歩進んで、医療の質と患者さんの満足度を一層高めるための取り組みを続けてまいります。

今年は、「病院機能評価の受審」の準備の年になります。

病院機能評価とは、病院の質改善活動のツールです。「公益財団法人 日本医療機能評価機構」が組織全体の運営管理及び提供されている医療について、中立的、科学的、専門的見地から評価します。

病院機能評価により、一定の水準を満たした病院は、「認定病院」となります。認定病院は、地域に根差し、安全・安心・信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言えます。全国の病院の約25%がこの制度を活用しています。5年毎に再受審が必要です。当院は6回目の更新受審となります。

今年の目標は、患者さん中心の医療の実現です。そのためには、スタッフ一人ひとりが自己研鑽を重ね、常に最先端の医療知識と技術を身につけることが求められます。また、チーム医療の重要性を再認識し、各部門間の連携を強化することで、より効果的な医療サービスを提供していきたいと考えております。

皆様にとって、今年も健康で充実した一年となりますように心よりお祈り申し上げます。新年のスタートを共に喜び合い、さらなる発展を願っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会医療法人有隣会

理事長 前島 孝司



思いやりのある看護を提供できる看護師を目指して



▶超高齢社会に向けた医療

2025年を迎え、日本は団塊の世代が75歳以上となるなど、年々高齢化が進んでいます。これに伴い、様々な疾患を抱えた人、介護を必要とする人、一人暮らしの高齢者など、医療・介護の支援を必要とする人が増加しています。このような状況を背景に、国の方針では、原則として在宅での療養が推奨されており、入院は必要最低限にとどめることが求められています。病院を利用する患者さんの状況も多様化しており、医療従事者はそれぞれの患者さんに合わせた適切な医療を提供することが求められます。

▶看護師の役割と取り組み

超高齢社会において、看護師の役割はますます重要になっています。看護師は、24時間体制で患者さんの最も身近にいる医療従事者です。そのため、定期的な体温や脈拍、呼吸数の測定、治療の補助、容態の観察、患者さんとのコミュニケーション、患者さんの教育など、多岐にわたる業務を行います。加えて、個々の患者さんに寄り添い、その人らしい生活を送れるようサポートすることが求められます。意思疎通が困難な患者さんにも適切な医療や看護を提供するよう努める必要があります。患者さんが在宅でもその人らしく過ごせるように、他職種と連携しながら限られた時間を最大限に活かして業務に取り組みます。

▶看護師の育成と教育

当院では、看護師が上記のような役割を果たせるよう、多角的な教育プログラムを実施しています。

<知識と技術の習得>

医師による専門分野の研修や画像の読み取り勉強会を開催しています。また、演習を取り入れた集合研修や部署体験、OJT（職場での実地訓練）を通じて、実践的なスキルを習得できる機会を設けています。さらに、オンライン学習システムを活用し、いつでもどこでも学習できる環境を整えています。

<コミュニケーション能力の向上>

正確な情報伝達、業務の優先順位付け、傾聴力、チームワーク力、状況判断力、リスク予測能力など、看護師に必要な多様な能力の育成を目指しています。コミュニケーション研修やロールプレイングなどを通じて、これらの能力向上を図っています。

<自己管理能力の向上>

自己管理能力の重要性を認識し、セルフケアに関する研修も実施しています。ストレスマネジメントやワークライフバランスなど、心身ともに健康な状態を維持するための知識やスキルを習得できるよう支援しています。

<その他>

看護協会などの外部研修への参加を奨励し、学んだことを部署内で共有する機会を設けています。

最後に、当院看護部は、“思いやりのある看護を提供できる看護師”の育成に努めています。そのためには、相手の立場に立って考え、その人の背景や思いを尊重することが求められます。患者さんを「患者」としてではなく、それぞれの人生を歩んできた一人の人間として捉え、接することが大切です。今後も、患者さんやご家族に「この病院を選んでよかった」と思ってもらえるよう取り組んでいきます。

【看護教育責任者】井上 須美 看護師

内視鏡検査専門ホームページを開設しました

苦しくない・負担の少ない
内視鏡検査

電話する
アクセス
診療時間
menu



**かかりつけ医と連携し
安心の内視鏡検査を**

地域の医療機関と連携し
継続的に患者さんの健康を
サポートします

地域医療機関を知る

SCROLL

東大阪病院
内視鏡検査専門ホームページ

2024年12月28日に『内視鏡検査専門ホームページ』を開設しました。このホームページでは、当院が推奨する“**麻酔を使用し、痛みや不安を軽減する内視鏡検査**”について詳しく説明しています。

ご自身の症状や気になる病名、または近くの医療機関から、ご自身に合った検査や医療機関を【症状から探す】【病名から探す】【医療機関から探す】の3つの方法で検索していただけます。また、当院では、近隣の診療所やクリニックの先生方と連携し、精密検査や手術が必要な患者さんをご紹介いただいています。当院での治療を終えた患者さんは、再びかかりつけの先生にお任せし、継続的に患者さんの健康をサポートさせていただく体制を整えています。ホームページ内では、当院と連携している医療機関をご紹介しています。

【内視鏡検査専門ホームページはこんな方におすすめです！】

- ・内視鏡検査が初めての方
- ・検査に不安がある方
- ・より詳しい検査を受けたい方
- ・城東区で内視鏡検査ができる医療機関をお探しの方

内視鏡検査のことなら、ぜひこのホームページをご活用ください。今後も内容を充実させていきますので、よろしく申し上げます。

有隣会トピックス



写真1: 感染対策を施し、表彰式を開催しました。

2024年12月17日に『有隣会表彰式』を開催しました。

本表彰式は、職員のモチベーション向上を図り、組織への貢献を称えるため、年2回実施しています。

今回の表彰式では、289票の投票が集まり、全職員の熱意が感じられました。厳正な審査の結果、各賞（院長賞、活躍賞、スマイル賞、新人賞）にふさわしい職員が選ばれました。

【院長賞を受賞されたOさん】

特に、院長賞を受賞された4階回復期リハビリテーション病棟のリーダー看護師Oさんは「日頃からスタッフへの感謝の気持ちを忘れず、積極的にコミュニケーションを取り、病棟全体の士気を高めています。患者さんに対しても温かいおもてなしの心で接し、大きな支えとなっています。」と評価されました。

有隣会は、今後も職員一人ひとりがそれぞれの役割を担い、互いを認め合い、チームワークの向上につなげていきます。そして、患者さんに質の高い医療・介護サービスを提供していきます。地域社会に貢献できる病院を目指します。



写真2: 院長賞を受賞したOさん

当院のがんリハビリテーションについて

●がんに関する国やリハビリテーションにおける制度

日本では、施策として2006年に「がん対策基本法」が成立し、2007年に「第1期がん対策推進基本計画」が策定され、がん対策の取り組みが本格的にスタートしました(一般財団法人ライフ・プランニング・センターホームページ: <https://lpc.or.jp/> より引用)。

日本人が一生のうちのがんと診断される確率は男性65.0%、女性50.2%(男女とも2人に1人)です。その中で、がん治療技術の進歩により生存率*が向上する一方で、治療中および治療後の副作用や後遺症、身体機能の低下、心理的な負担が課題となっていました。これらの課題に対応するため、がん患者さんに対して専門的なリハビリテーションを提供する必要性が高まり、その重要性が認識されるようになりました。このような背景から、2012年(平成24年)4月の診療報酬改定で、がん患者リハビリテーション料が新設され、日本ではがん患者さんの治療中および治療後のQOL(生活の質)向上を目指すためのリハビリテーション環境が充実してきました。

*2009年から2011年のがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で64.1%

●東大阪病院でのがんリハビリテーションの歴史

当院では、2013年(平成25年)に緩和ケア病棟を開設しました。それに伴い、リハビリ療法士も緩和ケア病棟に入院されている患者さんにリハビリテーションの実施を開始しました。さらに、一般病棟では化学療法の実施なども行われるようになり、リハビリ療法士のがん患者さんへの関わりが増加しました。院内でのがんリハビリテーションへの需要が高まったことで、より専門的な知識の向上とチーム力のアップを目的とし初めて2019年に「がんのリハビリテーション研修」を受講し、「がんリハビリテーション料」の施設基準を取得しました。以降、医師、看護師、リハビリ療法士が継続的に研修を受講しており、現在リハビリ療法士だけで計20名(理学療法士10名、作業療法士7名、言語聴覚士3名)が研修を修了しています。

その結果、当院では、研修修了リハビリ療法士を一般病棟や緩和ケア病棟に十分に配置し、がん患者さんのリハビリテーションを途切れなく提供できる体制を整えることができています。

●リハビリテーション治療の目的



がん患者さんへのリハビリテーションでは、がんの種類による特性や治療状況に注意しながら、寝たり起きたりする基本的な動作・日常生活動作(食事、トイレ、着替えなど)・歩行の改善や廃用症候群の予防・浮腫や痛みの軽減・栄養摂取方法の確立・在宅復帰支援等、身体機能だけでなく、動作や環境面に対しても関わっていきます。終末期においても、痛みの軽減・呼吸苦の緩和・心理的支援・環境調整等その時々に必要な関わりをチームで検討し行っていきます。

当院では、患者さんのご家族が抱える、様々な痛みや苦しみの緩和を目標とし、病院や在宅においてその人らしく穏やかに過ごせるように、心を込めてケアをおこなっています。

写真：実際に、がんのリハビリテーション研修に参加している様子です。ZOOMで他の参加病院とグループワークや発表・意見交換をおこないます。

かかりつけ医を持ちましょう

▶「かかりつけ医」とは？

日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。



柳原医院

● 内科 生活習慣病 小児科 訪問診療

- ・ 院長：築山 正嗣 先生
- ・ 住所：大阪市城東区東中浜3-4-1
- ・ 電話：06-6962-2924
- ・ 往診：有
- ・ リハビリ：なし
- ・ 訪問診療：有
- ・ 診療時間



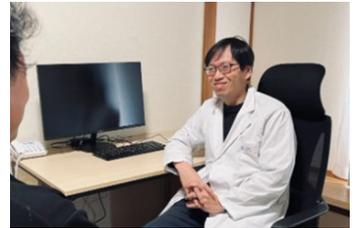
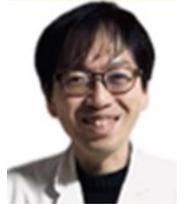
外 来	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	休	休
17:00~19:00	●	●	●	休	●	休	休	休

当院は昭和25年開業で、平成16年4月より叔父の後を引き継ぎ、私で3代目になります。場所は大阪メトロ緑橋駅よりすぐ、今里筋沿いにあります。診療内容としましては高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病の患者さんからコロナやインフルエンザといった発熱患者さんの診療も行っております。以前は年配の方が多かったのですが、最近では2代目、3代目の方が増え、子供さんの診療や予防接種なども積極的におこなっております。また当院は近隣の診療所、病院と連携を行い機能強化型在宅支援診療所（連携型）として登録しており、かかりつけ患者さんの24時間訪問診療をおこなっております。ご高齢となり通院困難となった方やがん患者さんの看取りまで、病院からの紹介や患者さんからの相談にはできる限りお受けしたいと思っております。東大阪病院には以前から城東区医師会在宅24時間連携体制において緊急時のバックベッドとして、また新病院となられてからは日中の救急対応の点でも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いたします。

あさひ訪問クリニック

● 訪問診療

- ・ 院長：居原田 善司 先生
- ・ 住所：大阪市旭区高殿3-28-24
- ・ 電話：06-6167-5918
- ・ 往診：なし
- ・ リハビリ：なし
- ・ 訪問診療：有
- ・ 診療時間



外 来	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:00	●	●	●	●	●	休	休	休
13:00~17:00	●	●	●	●	●	休	休	休

あさひ訪問クリニック院長の居原田 善司と申します。先進的な治療を行っても再入院を繰り返す多くの患者様たちを目の当たりにし、在宅医療の重要性を感じ、当院を開院しました。在宅医療の最も大きな魅力は【安心できる場所で適切な医療を受けられる】ことです。今までの生活を送りながら、自分の布団で眠り、いつもの味付けの食事を口に、大切な人と会話を送りながら治療を行っていくことで、治療に対しても前向きな気持ちを持つことが出来、病状の改善や予防にも繋がると信じております。

ご家族様が、病院まで送り迎えをする必要がなく、居宅、施設問わず、さまざまな訪問診療に365日24時間迅速に医師が対応いたします。身体的にも経済的にも負担が少なくなるように最適な治療プランをご提供することをお約束いたします。多職種の専門スタッフが一丸となり、患者様とご家族様が安心して過ごせるようにサポートさせていただきます。

まだまだ寒い季節 食物繊維で免疫力アップ！簡単ドライカレー



<作り方>

あずきごはん

- ① あずきは500ccの水と共に鍋に入れ、中火で加熱する。沸騰したら1分30秒そのまま加熱し、その後弱火で20分～30分程度煮る。※火加減の目安はあずきが小さく踊る程度です。芯が残らない柔らかさになれば完成です。
- ② ①を豆と煮汁に分けて冷ましておく。
- ③ 米を研ぎ、ザルで水切りをしたものを炊飯器に入れる。
- ④ 炊飯器の2合のメモリまで②のあずきの煮汁を加え、足りない分は水を足す。
- ⑤ ②のあずきを加え、さっと混ぜたら炊飯する。

ドライカレー

- ① タマネギ、ピーマンをみじん切りにする。
しめじはほぐしておく。
- ② テフロン加工のフライパンに豚と鶏肉のミンチを入れ中火で加熱する。余分な脂が出る場合は、キッチンペーパーなどでふき取る。
- ③ ①の野菜を加え、塩コショウをしてさらに炒める。
野菜に火が通ってきたら200ccの水を加える。
- ④ 市販のカレールー、ケチャップ、ウスターソースを加え水分がほぼなくなるまで炒める。
塩コショウで味を調える。

<作りやすい分量>

▶あずきごはん(白ご飯でもOK)

精白米……………2合
あずき……………50g
あずきを茹でる水…500cc

▶韓国ドライカレー(2人分)

豚ひき肉……………100g
鶏ひき肉……………100g
タマネギ……………1/2個
ピーマン……………2個
しめじ……………1/2パック
おろしにんにく………小さじ2杯
市販のカレールー…1/2皿分
ケチャップ……………大さじ1杯
ウスターソース………大さじ1杯
塩・胡椒……………適量

<食物繊維と免疫の関係>

豆類は、調理法によって食物繊維の量が変化するという特徴があります。特に、ゆでると食物繊維が大幅に増加し、あずきでは1.5～1.6倍にもなることが分かっています。食物繊維は腸内で短鎖脂肪酸に分解され、免疫細胞を活性化することで、感染症予防に役立つと考えられています。きのこ類や野菜と一緒に、豆類を積極的に取り入れた食事は、免疫力アップに効果的です。



外来診療一覽

		診療科	月	火	水	木	金	土
午前診	内科	総合・一般内科	宮村 (11:45終了)		星山		藤田 (第4週のみ)	落合 西澤(第1・2・4週) 池田(第4週)
		消化器	北野(均)	北野(均) ○坂東		○柳生	○北野(元)	○坂東
		循環器		○岩村		○藤原	○藤原	朴
		呼吸器・腫瘍	○片芝(雄)		○札谷 奥野	玉置 (11:45終了)	山中 (第4週以外)	山中(第2週) 第3週交代制 奥野/上裕/ 永田/藤井
		内分泌 糖尿病	春里			○大野 (10:30開始)		
受付時間 8:30開始 12:15終了 診察時間 9:00開始	外科系	外科		道上	足立 【肛門外科】	太田	道上	
		整形外科	福田 ◎中島	矢倉	福田 ○奥(おおえ) 【膝・股関節】	阿部 山田【膝関節】 (12:00終了)	矢倉	阿部 (11:45終了) ◎中島 (11:45終了) 仲田【リウマチ】 (11:45~12:45)
		リハビリ		菅 (11:30終了)		◎片山 (退院患者様のみ) (9:45~10:45)		
		脳外科 (11:45終了)						徳永(1・3・5週) 仁木(2・4週)
		皮膚科 (11:45終了)		岡本				

		診療科	月	火	水	木	金	
午後診	内科	総合・一般内科	宮村		篠藤【神経内科】			
		消化器					北野(均)	
		循環器					二木 ○山本	
		呼吸器・腫瘍	永田	○片芝(雄) (16:20終了)			上裕	○札谷
		膠原病		○石井				田中
		内分泌 糖尿病					○大野 (第3週休診)	
		腎不全外来		◎三上				
(外科系は 13:40開始) 診察時間 14:00開始	外科系	緩和ケア					◎足立(1・3週) ◎道上(2・4週)	
		整形外科	仲田【リウマチ】 (13:15~15:15)			仲田 【リウマチ・骨粗鬆症】		
		皮膚科 (16:30終了)					浦上	



◎・・・完全予約制 ○・・・部分予約制 赤字:女性医師 ※内科医師全員専門以外に内科一般の診察をいたします。

お見舞い・面会の方へ

院内感染対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当院では、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、当面の間、面会制限とさせていただきます。

入院患者さんの感染予防と安全を確保するため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

【面会が可能な方】

- ・ご家族(配偶者・両親・子・身の回りのお世話をされる方)
- ・入院や退院に伴う付き添い・手術や検査・緊急の呼び出しのためご来院された場合は、受付においてその旨をお伝えください。

【面会をご遠慮いただく方】

- ・1週間以内に発熱・咳などの風邪症状や、胃腸症状などがある方(同居家族に同様の症状がある場合もご遠慮いただきます)
- ・中学生以下(15歳以下)の方
- ・海外から帰国後、2週間経過していない方

【面会日・面会時間】

- 平日(月～金)、土日(祝日含む) 14時～17時
- 1家族2名まで、20分以内とさせていただきます。

【面会の手続き】

- ・各病棟のスタッフステーション窓口で面会簿に面会者の方の情報・体温・体調確認などの必要事項を記入し、面会者証を明示した状態で、スタッフへお声掛けください。
- ・面会者の健康状態および患者さんの状態により、当日にお断りする場合があります。

【面会時のお願い】

- ・病室に入る際は**不織布マスクの着用・手洗いや手指消毒の実施をお願いします。**
- ・面会者の飲食はご遠慮ください。
- ・面会の際、大きな声での会話はお控えください。
- ・面会後に面会者の新型コロナウイルスなどの感染が判明した場合は速やかにお知らせください。

※地域の感染症流行状況により、再度面会禁止の措置を行う場合があります。

※緩和ケア病棟の面会については病棟スタッフへお問い合わせください。

【ご寄贈をいただきました】

藤原 喜久雄様より、医療機器をご寄贈いただきました。心より感謝申し上げます。ご寄贈いただきました機器は、有効に活用させていただきます。温かいお心遣いに、重ねて御礼申し上げます。

社会医療法人有隣会

東大阪病院

〒536-0005 大阪府大阪市城東区中央三丁目4-32

代表 06(6939)1121

FAX 06(6939)1191

E-mail kikaku@yurin.or.jp

ホームページ <https://www.yurin.or.jp/>

【地域医療連携室】 ※医療機関専用※

直通電話番号：06-6932-0369 mail: renkei@yurin.or.jp

直通FAX番号：06-6932-0086 FAXは24時間受付します

◇東大阪病院

- ・一般病棟112床
- ・障がい者施設等病棟60床
- ・回復期リハビリテーション病棟60床
- ・緩和ケア病棟23床

◇関連施設

- ▶東大阪病院附属クリニック(在宅リハビリテーション課)
- ▶アイユウ東大阪病院・居宅介護支援事業所
- ▶訪問看護ステーションゆうりん

アクセス方法 access

